

# 卫陽會報

僻地複式教育の全道研究大会を翌年に控えた管内の全域を駆け回るのが仕事だつた。要所要所に必ず地域を支える同窓生がいた。その人々に不慣れな私は助けられた。手厚く助けられ続けた。数知れない便宜を受けた。同窓の恩は忘れられない。山間部では校長公宅に招かれた。漁港から船で釣りに連れて行かれた。教職員団体の活動が盛んな土地柄だったが、様々な事業の難所で、執行部の同窓にさりげなくフォローされている感触があつた。時に全道の会議で同胞と顔を合わせた。誰もが夕陽の誉れを肩にして立つていた。

認識が一変したのは三十代の終わりに管外に出てからである。成り行きのままに初めての土地に赴任したら、そこで突然、夕陽という宇宙が目の前に現れた。昔、幌泉と呼ばれた港があつて、まだ汽車も通わない頃に、北海道函館師範学校の卒業生は函館から船で赴任して来たそうである。昭和十二年に隣町まで鉄道が敷設されると、続いて北海道第二師範学校卒の俊英たちも次々と着任した。そういう先達の流れを汲む人々が大勢いて何も分からぬ私を迎えてくれた。道議会に籍を置く同窓の長老も含めたその地の先輩たちに囲まれて、齢の離れた後輩は歎仰を受けた。

空氣や水のように周りにあるのが当たり前で、その有難味が普段は目に見えないものがある。夕陽会などと、駆け出しの頃は教頭あたりに半ば脅迫されてようやく総会懇親会に出るくらいだった。高齢の立派そうな先輩たちが顔を並べていて、酒を飲んでいてもいささか窮屈だつた。忍耐が一変しては三十代の冬つりこ



# 私の夕陽讃歌

小熊庸介

(昭和35年卒)

ある山が重いた。母校はもとより近畿地域の各界各首長がこぞつて難局を本筋に揺り戻すに至つた。果敢の人橋田恭一會長を先頭に夕陽全体が結集して見せた底力は、ここで世の認識を新たにした。感謝の念を込めて私の夕陽讃歌と称しここに僭越ながら一老会員のはなだ私的な感慨を述べたが、「夕陽讃歌」そのものについてもことのほか思い入れは深い作詞者佐藤任先生は、かつて若輩の私が所属した教科教育研究会の會長である短歌の名手であつた。私の初任校で、すぐ上の四年先輩に当時新進氣鋭の寺中哲二教諭がいて、吹奏樂部を率いていた。「わかものたちよ」と「いのりさやけし」「えがくシユブール」のそれぞれが、一番と二番三番とで微妙に間合いをはずしながらメロディに乗るあたりが絶品だ、と作曲者の寺中教授に話したことがある酒をうまそうに飲みながら、教授はにこにこ笑つて迷論を聞いていた。

次の管内に異動後も、同胞が揃う折に当時の安島進幹事長の指導助言を受けた。宇宙の本部から手が差し延べられていた総会懇親会出席のため支部を訪れた高杉留七会長に懇ろに肩を叩かれた。迷い出た心もとない身には、しみじみと有難い親元の庇護と慰めと励ました。

古巣に帰つてからは、慣れに浸つて、夕陽会はまたや私の意識の底に埋没した。空気や水に戻つた。

ところがこの度、久しぶりにわが夕陽の宇宙が光り輝いた。国際地域学科設置に伴い、母校に小学校教員免許取得の道が絶たれず確保されることになつたのである。山が助いた。母校はよりの道角

区域の各界各首長がこぞつて難局を本筋に揺り戻すに至つた。果敢の人橋田恭一會長を先頭に夕陽全体が結集して見せた底力は、ここで世の認識を新たにした。感謝の念を込めて私の夕陽讃歌と称しここに僭越ながら一老会員のはなはだ私的な感慨を述べたが、「夕陽讃歌」そのものについてもことのほか思い入れは深い作詞者佐藤任先生は、かつて若輩の私が所属した教科教育研究会の會長である短歌の名手であつた。私の初任校で、すぐ上の四年先輩に当時新進氣鋭の寺中哲二教諭がいて、吹奏樂部を率いていた。「わかものたちよ」と「いのりさやけし「えがくシユブール」のそれぞれが、一番と二番三番とで微妙に間合いをはずしながらメロディに乗るあたりが絶品だ、と作曲者の寺中教授に話したことがある酒をうまそうに飲みながら、教授はにこにこ笑つて迷論を聞いていた。



昭和四十六年四月一日、函館から夜行列車に乗り朝モヤが漂う道東の根室に赴任しました。霞んだ風景が判然としない教師としての生活を予感させます。「君には団工の専科をやつてもらう」「予期しない言葉が耳に飛び込んできた時、背筋が凍り付くのを感じました。なにせ絵を描くことは幼少の頃から苦手なのです。校長室の壁が冷たく灰色に見えました。

こうして、表現力の乏しい新米教師は公民館油絵講座にこつそりと通う羽目になります。この道に間違つて入り込んでしまいましたが表現することの楽しさを味わうことができたのは幸せでした。次

この度の北海道教育功績者表彰の栄誉に際し、身に余る光栄と感激するとともに、恐縮をしているところです。昨年の十二月二十一日、家でのんびりとしていましたら、橋田会長直々の電話で受賞の知らせを受け、驚きと戸惑いを覚えたことを思い出します。また、受賞に際しましては、夕陽会をはじめ、皆様からお祝いや励ましの言葉をいただき、誠に有難うございました。衷心よりお礼申し上げます。

この二年間、いろいろな事情で、表彰そのもの控えられてきた中で、正直なところ、自分のような者が、このような榮えある表彰を受けるなど、全く意外なこ

昭和四十六年四月一日、函館から夜行列車に乗り朝モヤが漂う道東の根室に赴任しました。霞んだ風景が判然としない教師としての生活を予感させます。「君には団工の専科をやつてもらう」「予期しない言葉が耳に飛び込んできた時、背筋が凍り付くのを感じました。なにせ絵を描くことは幼少の頃から苦手なのです。校長室の壁が冷たく灰色に見えました。

こうして、表現力の乏しい新米教師は公民館油絵講座にこつそりと通う羽目になります。この道に間違つて入り込んでしまいましたが表現することの楽しさを味わうことができたのは幸せでした。次

この度の北海道児童美術協会の創立や根室美術協会を立ち上げ苦難もありました。が、幸い、道東の遠い地にも夕陽の良き仲間がいました。私を暖かく迎え励ましたことを覚えていています。同窓の血は濃かつたのです。気付かなかつた自己の新しい価値を再発見し、進むべき道を示してくれたことを覚えていています。

制作活動四十年。道立函館美術館の赤光社美術展実行委員長、新道展審査部長や事務局長、新道展函館支部展を毎年開催し道南の美術文化の向上に寄与して参りました。今回、標記の大きな足跡を残すことができ、この人生を支えてくれた人々に感謝しお礼を申し上げます。



○ 北海道教育功績者表彰

函館市 田辺 信之

(昭和51年卒)

とでした。それ故、このたびの受賞は、これまでの函館市中学校長会の取組の業績や成果に対する評価であり、私が代表していただいたものであります。さらに、何かにつけ励まし、勇気づけてくれました多くの夕陽の先輩諸氏や仲間と、関係各位のご協力、ご支援があつてはじめてできたことであります。

これまで支えて下さいました多くの皆様に、感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともご指導を宜しくお願ひ致します。

結びになりましたが、会員の皆様のご健勝と、夕陽会の益々のご発展をご祈念を申し上げ、お礼と感謝の言葉といたします。



## 出発点

○ 国館市文化団体協議会白鳳章

函館市 鈴木秀明

(昭和46年卒)

# 平成26年度 北海道教育大学夕陽会 本部総会・大懇親会・全国支部長会議 のお知らせ

○ 日 時 平成26年6月21日（土）

○ 会 場 函館国際ホテル

函館市大手町5番10号 TEL 0138-23-5151

● 全国支部長会議	13時30分～15時30分
● 総 会	16時～17時
● 大 懇 親 会	17時30分～20時



## 夕陽会より 函館校百周年を祝い寄付

幹事長 奥崎崎敏之  
(昭和60年卒)

北海道教育大学函館校が平成二十六年度に百周年を迎えることから、夕陽会では一月六日に橋田会長、繪面副会長が大学を訪問し、函館校百周年の記念事業に向け、同窓会より百万円を御寄付いたしました。

百周年の式典は平成二十六年六月七日に予定されているとのことで、記念講演会では戦場力メラマンの渡部陽一氏を招いての講演が行われることでした。また、記念美術展の挙行や、我々が在学中の頃からあった前庭の池について環境整備を行い、学生の憩いの場としてリニューアルされるとのお話を伺いました。前回の平成十六年に行われた九十周年では、劇作家の平田オリザんを招いて「対話の時代に向けて」という演題で記念講演が挙行されましたが、当時の資料を紐解いてみると、記念企画として「函館校の将来構想に対する意見を地域住民から募集する」といった取組もなされており、この度の新学科に向けた取組と同じような営みが当時にもあつたのだとうことを振り返ることができます。

百周年を迎えるこの四月に、函館校は「教育学部国際地域学科」となり、また新たな歩みを刻むことになりますが、これまでと同様に、地域にとって必要な人材を輩出し、北海道や道南にとつて欠くべからざる大学となつて今後も益々発展されることを願っております。

大学が第一回の入学生を迎えた大正三



度に百周年を迎えることから、夕陽会では一月六日に橋田会長、繪面副会長が大学を訪問し、函館校百周年の記念事業に向け、同窓会より百万円を御寄付いたしました。

百周年の式典は平成二十六年六月七日に予定されているとのことで、記念講演会では戦場力メラマンの渡部陽一氏を招いての講演が行われることでした。また、記念美術展の挙行や、我々が在学中の頃からあった前庭の池について環境整備を行い、学生の憩いの場としてリニューアルされるとのお話を伺いました。前回の平成十六年に行われた九十周年では、劇作家の平田オリザんを招いて「対話の時代に向けて」という演題で記念講演が挙行されましたが、当時の資料を紐解いてみると、記念企画として「函館校の将来構想に対する意見を地域住民から募集する」といった取組もなされており、この度の新学科に向けた取組と同じような営みが当時にもあつたのだとうことを振り返ることができます。

百周年を迎えるこの四月に、函館校は「教育学部国際地域学科」となり、また新たな歩みを刻むことになりますが、これまでと同様に、地域にとって必要な人材を輩出し、北海道や道南にとつて欠くべからざる大学となつて今後も益々発展されることを願っております。

大学が第一回の入学生を迎えた大正三

年（一九一四年）から四年後の大正七年三月に六十八名の第一回卒業生が学舎を巢立ち、その年の九月に同窓会が発足、夕陽会の歴史がスタートします。

平成三十年の夕陽会の百周年には、万全の準備を持つて臨むべく、本部事務局として様々な取組を今後行つて参りたいと存じます。こちらの周年行事につきましても、何卒、御理解とご協力の程をお願い申し上げます。



## 会務報告

幹事長 奥崎崎敏之  
(昭和60年卒)

### 《一般会務・函館校関連の動き》

1 / 6 函館校100周年記念に夕陽会より

寄付を贈呈する。  
(函館)

1 / 20 夕陽文化事業（音楽、書道、美術）の今後の見通しについて、

1 / 25 日胆ブロック会議・胆振連合支部総会に橋田会長が会合を行う。  
(函館)

1 / 29 五分校会長と道教委立川教育長との懇談会に橋田会長が出席する。  
(室蘭)

2 / 6 函館市支部顧問会議に橋田会長、奥崎幹事長が出席する。（函館）

2 / 21 夕陽受賞祝賀会が開催される。  
(函館)

2 / 22 2 / 14 2 / 11

苦小牧支部勇退者激励会・懇親会に奥崎幹事長が出席する。  
(新ひだか町)  
幹事長が出席する。  
(苦小牧)  
檜山支部総会・先輩を送る会に天野副会長が出席する。  
(江差)

《支部総会・懇親会・同期会・個展等》				
1 / 5	特別支援学校支部総会に平田副幹事長が出席する。 (札幌)	青森西北五支部総会に樺山副幹事長が出席する。 (五所川原)	網走連合支部総会に福井副幹事長が出席する。 (温根湯)	2 / 14
1 / 18	青森西北五支部総会に樺山副幹事長が出席する。 (五所川原)	網走連合支部総会に福井副幹事長が出席する。 (温根湯)	後志支部勇退感謝の会に樺山副幹事長が出席する。 (岩内)	2 / 11
1 / 25	青森西北五支部総会に樺山副幹事長が出席する。 (五所川原)	網走連合支部総会に福井副幹事長が出席する。 (温根湯)	渡島支部勇退者激励感謝の会に橋田会長、奥崎幹事長が出席す	
2 / 8	青森西北五支部総会に樺山副幹事長が出席する。 (五所川原)	網走連合支部総会に福井副幹事長が出席する。 (温根湯)	後志支部勇退感謝の会に樺山副幹事長が出席する。 (岩内)	



## 函館校は2014年(平成26年)創立100周年を迎えます

### 1 記念式典、祝賀会、記念講演日程

日 程 平成26年6月7日（土）

会 場 函館国際ホテル

※記念講演講師は  
戦場カメラマン 渡部陽一氏の予定。



### 2 記念環境整備事業

前庭（池周辺等）環境整備作業

学生の憩いの場である前庭が、より良い環境となるよう樹木の剪定および池周辺の整備を行う。

### 3 記念誌の発刊

創設時から現在までの写真等を掲載予定

これまでにも記念事業として発行しており、今回は90周年以降の内容を中心とした編集を予定。

### 4 記念美術展覧会

日程、会場、概要については、現在詳細に調整中



・特別寄稿 ワルシャワ通信

在ボーランド日本大使館付属  
岩  
館  
佳  
弘

一  
ラ  
ン  
ド  
日  
本  
国  
大  
使  
館  
付  
属  
ワ  
ル  
シ  
ヤ  
ワ  
日  
本  
人  
学  
校  
長

岩  
館  
佳  
弘

ボーランドの教育事情やワルシャワ日本学校の様子を今回は紹介いたします。

ボーランドでは、七歳から十八才までが義務教育で、日本と同じく「六（小学校）、三（中学校）、三（高校）」制を取り入れています。新学期は九月から始まり二学期制です。大学進学率は五十%余りで、最初の三年で学士号、続く二年で博士号を取得します。就学前の一年間、「ゼロ学年」と呼ばれる教育が行われています。幼稚園や小学校に付設され、入学を迎える子供たちを対象に読む・数える・絵を描く等の指導をしています。公立学校の授業料は原則的に大学まで無料です。

小学校の一・二・三年生は統合指導と呼ばれ、日本の生活科的な学習内容を学んでいます。四年生以上は専門教科の学習を学んでいます。教科書は国が指定しているものの中から教師が選択して使用しています。カリキュラムは国が定めています。飛び級や落第のシステムもありますが、稀な例のようです。外国語学習は、一年生から週二時間英語の学習があり、四年生からは第二外国語として英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語のうち一ヵ国語を選択します。ただ、各学校の指導教師の有無によつても変わらうそうです。

の校長から指摘されました。ワルシャワには、インターナショナルスクール（アメリカン系、ブリティッシュ系）、フレンチスクール、ドイツ人学校も存在しています。インターに通つている日本人子女もいますが、中国人や韓国

級たそうで、入学倍率は二倍だと聞きました。特別な試験を入学時に受け、そこで合格した生徒だけが三年間そのクラスに在籍できるそうです。

概ねボーランドの教育レベルは高く、観察した中学校の数学や理科の学習は日本の高校の学習内容も入っていました。英語のレベルも日本に比べるとかなり高く、日本の中の一つの教科書の内容はボーランドの小学校低学年の内容だと英語学校

強するそつです。それそれの試験の成績によつて中学校、高校、大学への進学先がある程度決まつてしまふので、卒業試験は非常に大事です。私が今年度視察に行つた中学校には英語専門クラスがありました。普通学級より英語を多く学ぶ学

ストがあり、高校を卒業する時も統一試験（マトウーラ）があります。この試験を通らなければ、大学進学はもちろん、高校の卒業資格ももらえないのです。生徒は必死になつて勉強します。

人の在籍が非常に多くなつていると聞いています。

(三十時間)で、これ以外に「モジュールの時間」として、小学部(週二時間)、中学部(週一時間)の学習時間があります。

本年度の授業日数は二〇二日で、祝祭日はボーランドの祝祭日に合わせています。

授業料は小規模校のために高く、月額一九二〇ズロチ（一ズロチ＝三〇円＊現在）となっています。

日本人学校の派遣教員は「何でも屋」になる必要があります。主免許を中心に小学生も中学生も指導します。また、初めての業務があつても少しつきりやうなずけ

ればなりません。  
英会話授業は現地の英会話学校の講師  
が指導しています。初級コースでも日本  
の中一程度の内容になつています。

現地校との交流としてワルシャワ市内の小学校と年間四、五回交流活動を行っています。日本文化の紹介をしたり、ス

ボーッ交流をしたりして います。昨年十二月にクリスマス交流会をした時、サプライズがありました。ボーランドのクリ

ました。子供たちも我々も非常に感激しました。

力を付けようと、木曜日の放課後に「セカンドスクール」と名で補習学習・自主学習の時間を一時間設けています。

次年度に向けて特に、国語力・英語力の強化と進路指導の充実を最重点に考えています。

会員各位のご活躍をお祈りしています  
(在籍・音更町立下士幌小学校)

自然・社会体験を実施している。

力をつけようと、木曜日の放課後に「セカンドスクール」と名で補習学習・自主学習をつづけていました。

は、小学部一年  
(二十八時間)、

習の時間を一時間設けています。

十九時間）、小学部三年六年（三十時間）、中学部

会員各位のご活躍をお祈りしています。  
(在籍.. 音更町立下土幌小学校)

# Warszawa 通信

2014. 02. 08 ワルシャワ日本人学校 岩館 佳弘

## 大使公邸料理人・東洋さんの特別授業

2月7日(金)に在ポーランド日本国大使公邸料理人の東洋 賢士さんを講師に迎えて、家庭科特別授業を実施しました。

東洋さんは、私たちと一緒にソフトボールやランニングで一緒になる方で、北海道出身(札幌市)です。

和食の料理人として京都で仕事をしていたときに、大使公邸料理人として登録し、ポーランドに来たそうです。

この日は、季節に合う和食を子供たちと一緒に作ろうということで来ていただきました。保護者も一緒に、太巻き、稻荷寿司、握寿司やお吸いものを作りました。

和食が世界遺産に登録されたこともあり、最初に和食の命、「だし」をとるところを実演してもらいました。

子供たちは握焼き、太巻き、稻荷寿司、握寿司などを東洋さんの指導を受けたり、教員や保護者に聞きながら作りました。

お吸い物はやっぱり味が素晴らしいと評価されました。

参加者全員が満足する授業となり、こういうものだと、感心するところが

## 初めての学校公開

2月4日に初めての「学校公開日」を年まではスケート授業の参観だったのが、スケート授業がないので、3学期の1日を行いました。

日本人会員や日本人会理事、学校運営委員会と呼びかけをしましたが、平日での少なく、来校者はほとんど保護者となつしゃった保護者もいます。

全員が授業をすることを基本にし、1名でしたが、久しぶりに授業を公開する初めての試みですので反省点もあ



## ポーランド生活⑭

### ソチオリンピック開幕



ソチオリンピックが開幕しました。日本でもきっと、興味ちゃんが興味君。そして、ジャンプの興味ちゃん、スケートの興味君ちゃんなどのことがあなたになっていますことあります。

ポーランドではスキージャンプの興味君が有名ですね。本格的興味君という時は興味君さんなのです。が、ポーランドに来てから「ジャンプの興味と興味君だね」と思われる事もよく「興味君ちゃん」ですと呼ばれて可愛がられるそうです。

ポーランド語で音走は男子のジャンプが音走を意味しています。現在、ワールドカップポイントで2位にいるカル・スッタフ(Karl Stach)選手が金メダル候補です。ジャンプ選手もメダルが飛躍です。

それから、前回のオリンピックでもメダルを取っている女子クロスカントリースキーのユリナ・コフカルツ(Justyna Kowalczyk)選手もメダルが飛躍されています。先日、校歌の大さんと歌している時、この選手の名前が出て、ポーランドの国旗間にオリンピックのようです。

ワルシャワ市内の道路などではクロスカントリースキーをする迷惑行為がたくさんあります。ロシアかんすとは時速が1時間でやんないので、オリンピック放題を楽しんでいるところです。

そして、大きな問題として2012年の夏季オリンピック開幕都市としてポーランドのクラクフが名乗りを上げたというニュースがあります。クラクフはポーランド南部に位置し、チェックとの相撲に近く、近くにザボワという名のスポーツの盛んな山地の街(ワールドカップのジャンプなど毎年開かれています)があります。

### 英語検定・漢字検定受検中

本校を会場に開催検定と漢字検定が半日行われています。

本校を会場に開催はかりでなく、日本人会員も受験できることになっています。開催検定は午後以降、漢字検定は10名以上の受験者が必要なのですが、本校の保護者の皆様により開催が難しく準備になってしまっています。そこで人間が受けたために、教員も受験する場合があります。

私も6月に開催検定を3回に挑戦し、1回は開催検定2級(1次出題はぎりぎり合格、月末に2次試験)に挑戦せず、漢字検定も3級を本校で受験することになります。

今日は漢字検定を本校で受験することになっています。受験の際のルーティンはインター・シリアルスクールに通う小6年生です。ヨガと一緒に古経したので9回も。。。と私が復習を頑張っています。英検2級まで受験するつもりです。

■ ワルシャワも田が高くなっています。矮くなるのは午後4時半ぐらいです。また、ずっと登りの日が続いていましたが、今週は久しぶりに青空が見え、夜、月も見えました。冷え込みもゆるみ最高気温がプラスになっています。

異国の香りを伝えるワルシャワ通信



## AMAZONAS 通信

2014年(平成26年)1月1日 元日号

学校教育目標	
・自ら進んで学びとる子ども	(8)
・礼儀正しく思いやりのある子ども	(9)
・心と体を鍛える子ども	(8)

### あけまして おめでとうございます

早いもので2014年(平成26年)がスタートいたしました。皆様におかれましては、お忙やかに新年をお迎えのこと存じます。旧年中は大変お世話になりました。誠にありがとうございました。今年も公私ともに全力で頑張る所存であります。望らぬこともあるかと思いますが、ご商事ご縁のほどお願い申し上げます。皆様の今後益々のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、私もマナウスに滞在し10ヶ月が経とうとしています。もう少しで一年が過ぎようとしていますが、なかなか暑さにはなれません。連日30℃を超え、真夏の中のクリスマス、そして正月を迎えてあります。また、現在、マナウスは雨季に入っており、時折パケツをひっくり返したような土砂降りの雨が降ります。こちらのNHK 海外プレミアム放送を通して、北海道の天候も大荒れで大変な様子を目にします。

### マナウスのクリスマス

ブラジルはキリスト教カトリック信者が国民の約73%を占めます。それだけにキリスト教関連の行事を大々的に行なわれています(写真はセントロの戸大ツリ)



ライトアップされた AMAZONAS劇場

所に戻ることを約束にして、解放されたり前のお話ですが。

### 現地校卒業式に参加

12月14日、本校と交流している卒業式があり、出席してきました。マルな服装でと書いてありました。私は迷いながらドレースで参加しました。なんでこんなところで卒業式?と不思議に到着すると、すべての疑問が解消されました。卒業生もドレス姿で化粧バッチャリ。には見えません。しかも、卒業式がとにかく賑やかで、おしゃべりをしたり、先生方が注意することなく当たり前のマナーの違いを感じました(いかにも優秀者の表れなどセレモニーがすべていました。食事をしながら、卒業生は競争とした雰囲気でした。さすがに、コンドミニオについたのは午

反対側に位置するブラジル、現在は夏から秋へ季節が移り変わっている頃かと思います。そんな異国にあって、学校経営に奔走する片倉先

生の姿を「ブラジル通信」から、感じ取つていけば幸いです。

(情宣部長 古川 邦彦)

昭和五十五年卒で現在ワルシャワ日本人学校に勤務する岩館氏の紹介で、今回は昭和五十九年卒、胆振管内より、ブラジル、マナウス日本人学校に勤務する片倉徳生氏の「ブラジル通信」を紹介します。

# 地球の裏側から届いたアマゾン通信



## AMAZONAS 通信

2013年6月30日 2号

### 学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども
- ・心と体を鍛える子ども

### 暑い・熱い運動会終了!

マナウスも乾季に入り、最近、雨はほとんど降りません。そういった中で、運動会が6月16日に行われました。本校の運動会はマナウス日本文化振興会(学校運営委員会)に属する24社の企業が参加します。ソニー、ホンダ、パナソニックなど有名どころの企業さんばかりで、現地採用ブラジル人勤務1000名ほどが運動会に参加します。ですから、マナウス日本人学校の運動会というよりも、企業合同運動会といったほうがふさわしいかもしれません。写真1は、全校児童生徒によるボイダンス。アマゾン地方に伝わる民俗ダンスです。写真2は、プロのダンサーによるボイダンスです。運動会半ばの休憩時間に踊ってもらっています。企業のブラジル人の皆さんも、一緒に楽しく踊っています。写真3は本校児童生徒による応援合戦です。赤組、白組それぞれが自分たちで考えた応援を行います。その時には、企業さんも参加しますので、大いに盛り上がります。4は、4人乗りの車で走る車椅子競争。5は、車椅子競争の様子。6は、車椅子競争の様子。



### コンフェデレーションカップ ブラジル優勝!

ブラジルが優勝しました。優勝と同時に、マナウスの町にも花火が打ちあがりました。試合中もブラジルの得点が入るたびに、花火が打ち上げられ、道路からも車のクラクションが鳴り響いています。テレビのアナウンサーも優勝を確信してか、冷静なアナウンスです。が、得点が入ると一転し、熱狂しています。

さて、右の新聞記事は、開催前に地元新聞社が日本人学校を訪れ取材したもので、当初、児童生徒を含めて、写真を撮りたいということでしたが、安全面を考え新築教員と一緒に撮りました。これだけ盛り上がったコンフェデレーションカップ、来年のワールドカップはどうなるのでしょうか。





## 平成25年度 夕陽会研修助成先一覧

(H26. 2. 17現在)

- 1 第18回学校図書館夏期セミナー（函館セミナー）
- 2 平成25年度 夕陽会空知支部全体研修会『教育講演会』
- 3 夕陽会小樽支部 夏季研修会
- 4 夕陽会胆振連合支部 『夕陽会学校経営セミナー』
- 5 第41回北海道特別活動研究会函館・渡島大会
- 6 第59回渡島複式教育研究大会松前・福島・知内・北斗大会
- 7 第38回北海道特別支援学級設置校長協会 経営研究会渡島大会
- 8 第66回北海道書写書道教育研究大会函館大会
- 9 第42回北海道性教育研究大会函館大会
- 10 第51回北海道小学校家庭科教育研究大会函館大会
- 118 平成25年度8 夕陽会岩手支部総会盛岡集会
- 12 第63回全道へき地複式教育研究大会十勝プレ大会
- 13 全道へき地複式教育研究大会十勝プレ大会
- 14 夕陽会士別・名寄地区交流会&研修会（若手幹研究）
- 15 平成24・25年度渡島教育局研究指定 北斗市立島川小学校公開研究会
- 16 夕陽会小樽支部 冬季研修会
- 17 平成25年度 夕陽会留萌支部研修会
- 18 北海道教育大学夕陽会特別支援学校支部 講演会
- 19 平成25年度 夕陽会札幌支部 会員研修会

(研修部長 白尻中学校 風間 和夫)

### 母校近景



函館校 正面キャンパス



前庭より校舎を望む



# 支部の歴史を振りかこすて

## 日高支部の歴史を振り返つて

日高支部長 細川清茂

(昭和51年卒 新ひだか町立三石小学校長)

私は、平成八年に管理職として日高管内に赴任しました。ですから、日高支部の歴史を振り返るといつてもここ二十年弱の日高夕陽会しか分かりません。

この原稿を書くに当たり、まとまつた資料が事務局に残されておりませんでした。そこで、過去に支部長をやられていた大谷富保氏（昭和三十一年卒）を頼りに資料が保存されていないかお尋ねしたところ、個人で日高夕陽会の足跡をまとめおられました。今回、その資料を基に日高の歴史を振り返つてみると、

**函館師範学校と日高の強い結びつき**  
日高は昭和の初め頃まで陸上交通が未整備であったため、主要な交通機関は船に頼っていました。船は、日高—函館を定期的に航行していましたので、日高の生活圏は函館を中心でした。

その頃、上級の学校を目指す若者も函館師範が多かったそうです。その後、日本線が開通しても函館へという気持ちが強く残っていたようです。

このような影響から、函館師範学校を卒業した若者が日高管内の学校に赴任する先生が多かったです。日高管内教職員の総数に対する夕陽会員の占める割合は、終戦後からずつと二割前後だったよ

**組織強化と日高の発展に寄与**  
それから現在まで総会の日は、二月十日とされ、日高支部結成記念日は、昭和五十二年二月十一日となりました。

一日とされ、日高支部結成記念日は、昭和五十二年二月十一日となりました。

は教頭という形にしました。各町に支会を開設し、支会ごとの集まりを促し、一般会員の参加を目指しました。

活動内容は、当初、管理職を目指す教師に対する学習会に力を注いでいました。このことが、一般会員の夕陽会を敬遠する大きな原因の一つだったようです。

そのため、毎年、新会員の歓迎会を恒例化し会員の拡大を図っていきました。そして、この頃から「学習する夕陽会」「行動する夕陽会」というスローガンを掲げ内容充実に努めていきました。この精神は、現在も受け継がれ、運営方針として会員の支柱になっています。

そして、多くの先輩が、日高の発展に大きく係わってきました。

川村清一氏（昭和五年卒）は昭和三十年に道議会議員、その後昭和四十年に参議院議員として当選し、以後十八年間国政を担つてきました。

さらに、川村清一氏の後継者として原清重氏（昭和十九年卒）が昭和四十二年に道議会議員に当選し、道議会の副議長として道政の中心的存在として活躍されました。

兩氏は、日高の大切な財産であると共に、夕陽会日高支部の誇りでもあります。他にも町長、教育長として日高管内の市政、町教育の発展に大きく係わられてきた方が多数おられます。

**活性化を促す近年の活動**  
「学習する夕陽会」「行動する夕陽会」を基本方針に、会員相互の連帯意識を強めるため、重点として①年代層に応じた組織の強化（若い会員の交流会など）、②会員の資質向上のための研修活動の充実（管理職への学習会など）、③会費の早期納入と納入率のアップを掲げ活動を行っています。

近年、町村合併、学校の統廃合などの影響もあり会員数が減少し、組織の見直しが迫られ、平成二十三年に九支会から六支会に再編し、相互連携や活動をし易くしています。

諸活動の活性化には若い会員の参加が不可欠であることから、平成二十年度から「若い会員の学習会・交流会」を行っています。将来的には、若い会員から管理職への道に進み、これから日高の教育の中心を担つて欲しいという願いがあります。

資質向上のためには、年三回の学習会を開いています。その中の一回は、「先輩の話を聞こう」ということから、平成二十四年には、元日高教育局生涯学習課長でありました和田裕氏（昭和四十六年卒）を招いて今日的な教育課題について講話をいただきました。

全会員が集う機会は、二月の総会・激励会と五月の歓迎会です。会では「先輩からの一言」の場面があり、近況と合わせて、大学時代のエピソードや日高赴時での苦労話を聞くことができます。

締めの寮歌では、決まって廣田達雄氏（昭和二十八年卒）が音頭を取ってくれ、日高支部の伝統の流れを感じることができます。

夕陽会日高支部の足跡に触れてくる中で、先輩方の功績があつて、今日があることを改めて感じることができました。

これからも輝かしい日高支部の歴史が語り継がれていくため、私たち現職会員が夕陽会の精神を後世につなげていく決意と責任の重さをしつかり受け止め、これから活動の充実を図っていきます。



## 空知支部から

(昭和53年卒 岩見沢市立第一小学校長)

空知支部長 千葉 潤

空知支部は、これまで「創造し行動する夕陽会」を掲げ、個人と組織の力量を高めるべく会員間の交流と研修を二本柱に運営してまいりました。

産炭地を背景に賑わいを見せた歴史を振り返るとき、現在、管内の小中学校数は百二十二校と激減の一途をたどり、この数年は特に統廃合が急速に進んでいる状況です。さらに、数年のうちに十校程度が減る見込みとの話もあることから、管内教育の充実を期す上で決してプラスではないと危惧しているところです。

さて、空知支部の義務教育現職会員数は八十一名で、うち管理職十二名（教頭六名、校長六名）と、管内においては大変小さな組織です。しかし、行政職会員並びに多くのOB会員の皆さんに支えられ、会が運営されていることは誠にありがたいことです。特に先輩の皆さんのが長年にわたるご尽力のお蔭で、会員数では他の団体には及ばないものの、個々の会員を見るとき、それぞれの学校や地域、教育関係団体等において活躍し、管内教育を牽引する立場にある会員がいることを大変心強く感じています。

活動状況としては、例年、行政で活躍される夕陽会会員を講師にお招きし教育講演会を開催するとともに、一月には、実践交流会を開催し、夕陽会ならではの会員研修を重ねてまいりました。

一般会員の参加増加が課題ではあります。が、管理職会員が数名の担当を決め、電話等で声掛けを行いながら、ミドルリーダーの育成にも留意しているところです。

同時に、幅広く他の同窓会等ともネットワークを広げることにより、管内の夕陽会員の活躍の場がさらに広がるように努めていかなければならぬと考えています。

いつの時代にも教育は大きな関心事であります。が、空知夕陽の先達が、常に課題と向き合つてくださったように、我々も小さなままであります。「山椒は小粒でピリリとからい」と評されるように、空知が直面する学力や体力向上の取組、あるいは、いじめや心の教育、信頼される学校づくりなどの諸課題に対し、それぞの立場で適切に正対し、結果を出していかなければならぬと決意を新たにしています。

なお、平成二十六年度当初人事においては、統廃合等の関係で、活躍の場を管外に移す管理職も出てくるとのことです。が、それぞれの地で夕陽の皆さんの方添えを切にお願い申し上げます。



総会風景



## 青森西北五支部だより

(昭和59年卒 鶴田町立富士見小学校教頭)

青森西北五支部長 高橋 宏彰

私達の支部は青森県の津軽半島の西側に位置します。六年前に、学校の統廃合で学校が少なくなってしまった、二十代の教諭が数えるほどしか居ない、と紹介しました。今では、更に学校は減り、二十代の教諭はゼロ、教諭の平均年齢は四十九歳だと噂されています。

そんな厳しい状況の中でも、本部の会議等には必ず誰かを派遣し、支部の総会もしつかり毎年開催してきました。今年も二年連続で櫛山聰副幹事長をお迎えして、男臭い支部総会を開催しました。また平成十六年情報社会教育課程卒業の坂本広樹さんが、爽やかな風とともに教職外初の会員として新加入してくれました。十年以上夕陽会に携わっていますので



高見盛関の断髪式

「奇跡を遙かに通り越して」という題で平成十六～八年に四回に渡って掲載させて頂きましたが、その教え子からの招待で断髪式に行つてきました。両国駅に降りたらロックのコンサートのような熱気。場内はビックリ超満員。初めて（で多分最後）の国技館。感慨深いものがありました。この場をお借りして、私事ながらご報告させていただきます。

支部だより

